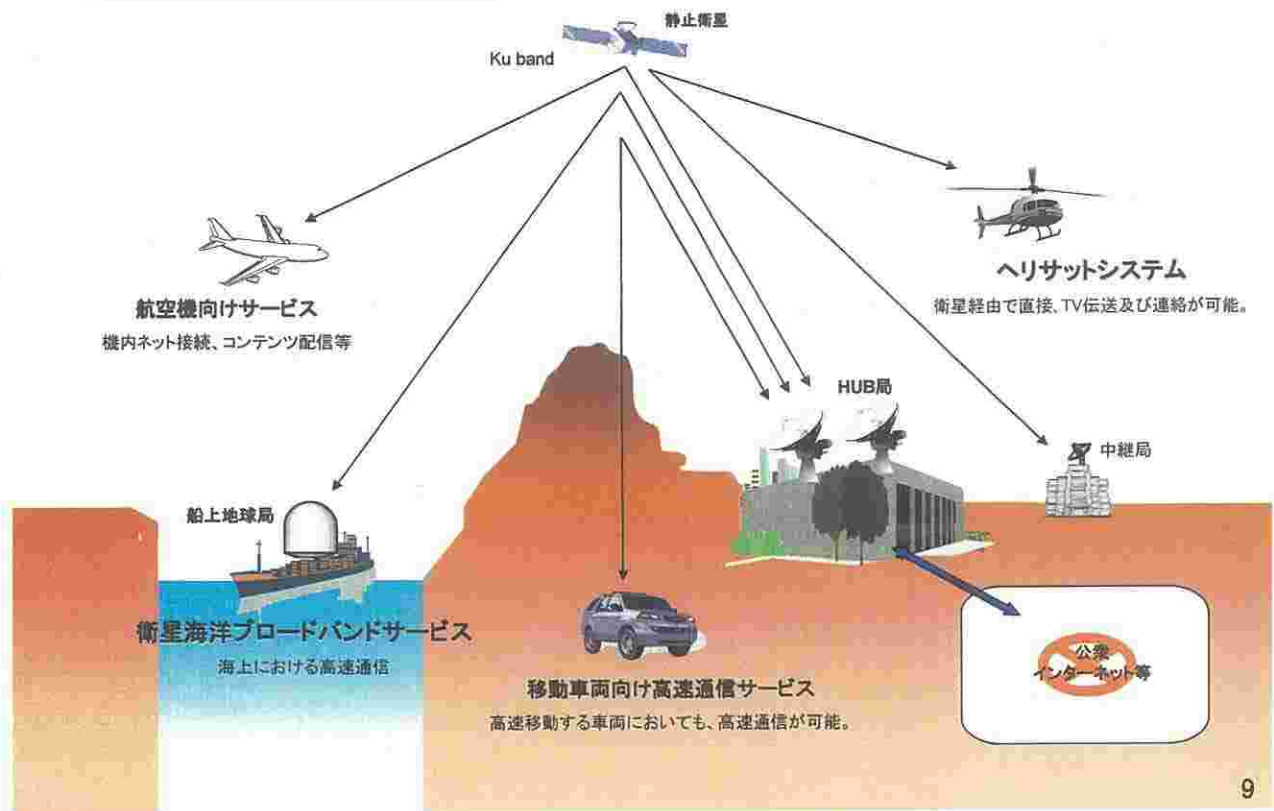
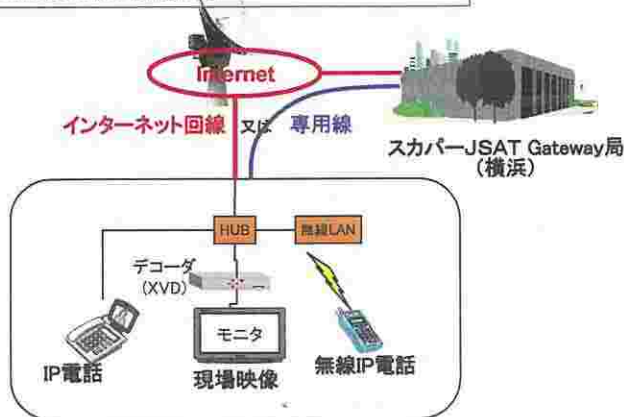


衛星優位領域①: 移動体サービスの拡充



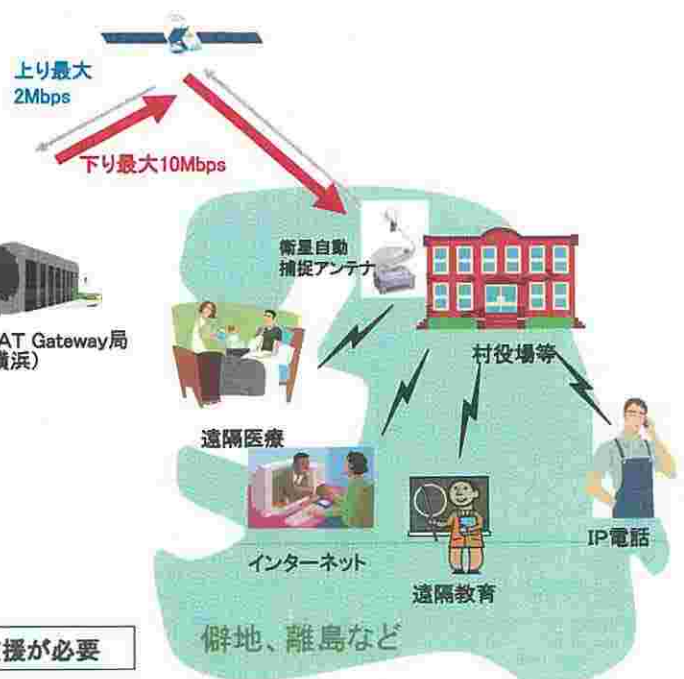
衛星優位領域②: デジタル・ディバイド解消

- 光、ADSLを利用できない条件不利地域等への衛星ブロードバンドサービス (SPACEIP) 提供。
- ・映像伝送
- ・IP電話TV会議
- ・無線IP電話
- ・災害時、ネットワークトラブル等で地上回線が利用できない状況でも通信確保可能。
- 2007年度末: 46拠点にて導入
- ・小笠原村、南北大東島、他



コンシューマ向けデジタル・ディバイド対応への支援が必要

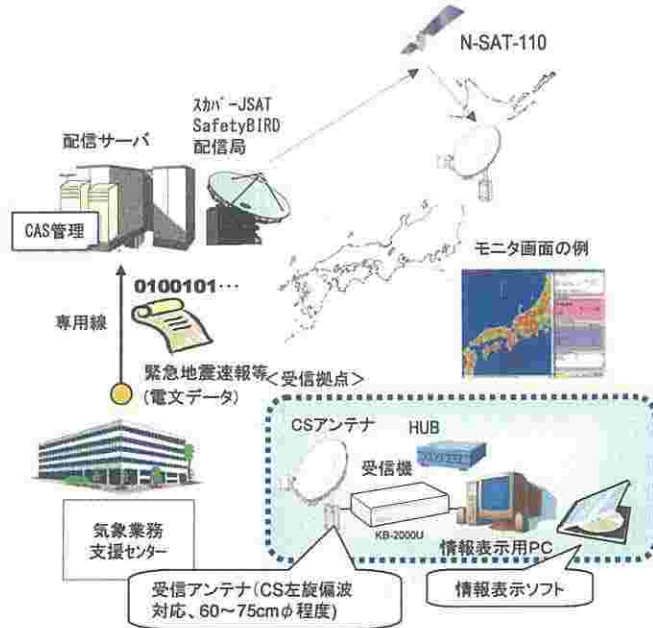
デジタル・ディバイド解消戦略



衛星優位領域③： 安心・安全(耐災害性)-1

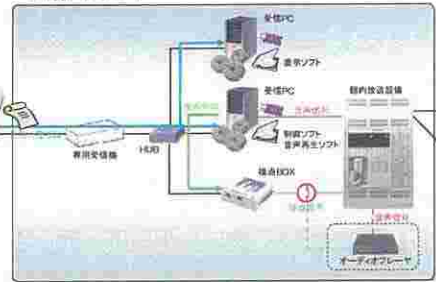
緊急地震速報 衛星配信サービス SafetyBIRD

- 緊急地震速報などの防災情報衛星配信。
- 2008年2月から雷・気象情報等のサービスメニューを追加。

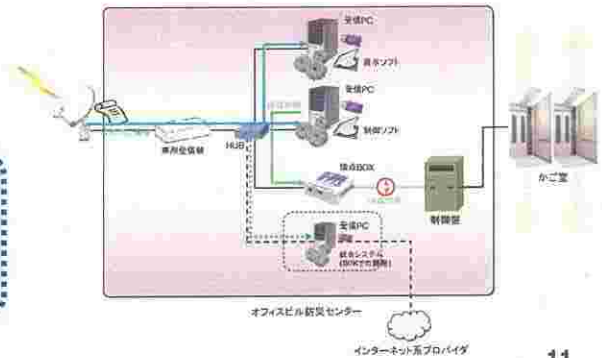


(利用事例)

工場・プラント



エレベータ



衛星優位領域③： 安心・安全(耐災害性)-2

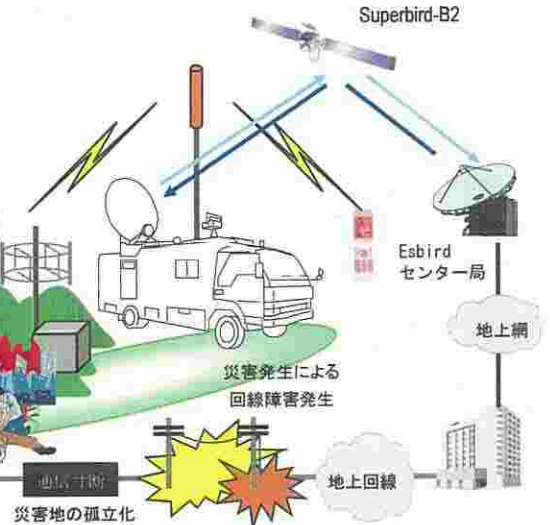
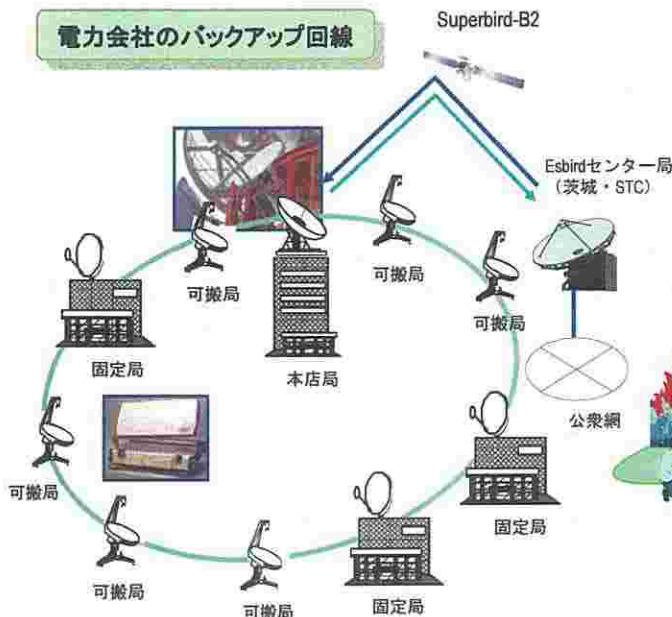
通信防災プラットフォーム Esbird

- 当社がセンター局 (HUB) を保有する防災通信プラットフォーム。
- IP伝送を基本とし防災電話・低速～高速データ通信まで対応。

地上網(携帯電話)との組合せ

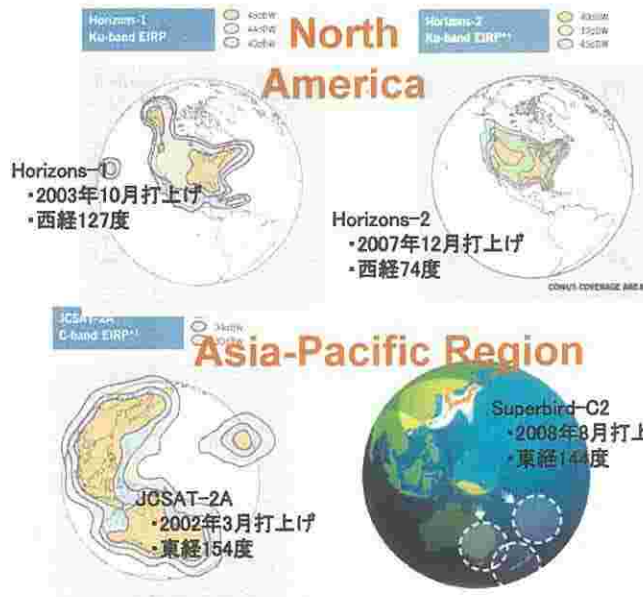
- ✓ 車載型無線基地局を設置し、迅速に迂回エントランス回線構築
- ✓ 孤立化する災害地での携帯電話トラヒック(通信回線)確保

電力会社のバックアップ回線



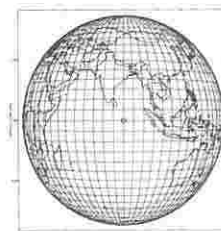
衛星優位領域④:グローバル衛星市場への展開

JCSAT-2A、Superbird-C2、Horizons衛星等により、アジア・太平洋地域におけるインターネットバックボーン回線の提供、ハワイの地球局を経由した米国からのニュースやスポーツイベント、映像コンテンツの配信などのグローバルサービスを提供。各国事業者との共同事業や事業統合の可能性を模索。



- 官民一体による途上国との連携、開拓
取り組み強化
- ODAによる国際協力への積極的利用

Indian Ocean Region



13

今後の衛星利用動向

14